

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-103551  
(P2001-103551A)

(43) 公開日 平成13年4月13日 (2001.4.13)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
H 0 4 Q 7/38

識別記号

F I  
H 0 4 B 7/26

データベース\* (参考)

1 0 9 L 5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平11-280698

(22) 出願日 平成11年9月30日 (1999.9.30)

(71) 出願人 392026693

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ  
東京都千代田区永田町二丁目11番1号

(72) 発明者 石川 秀俊

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・  
ティ・ティ移動通信網株式会社内

(72) 発明者 若林 達明

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 エヌ・  
ティ・ティ移動通信網株式会社内

(74) 代理人 100077481

弁理士 谷 義一 (外2名)

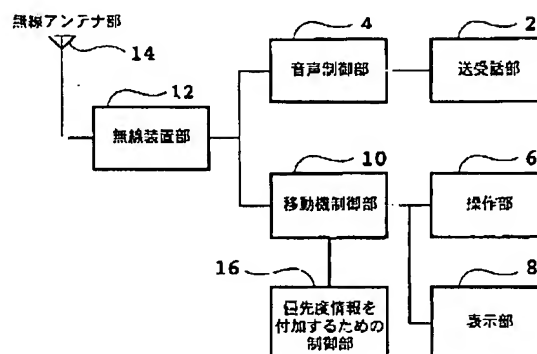
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 移動機、情報付加装置および無線通信システム

(57) 【要約】

【課題】 呼毎に発信側移動機の利用者が呼の優先度を付与もしくは指示し、この優先度を含む優先度情報を通信網を介して着信側移動機へ伝達させる。

【解決手段】 発信側移動機より発信する際に、着信側移動機に優先度情報を伝達するために、通信網側へ送出する呼制御情報に優先度情報に関する情報要素を付加するブロックとして、制御部16を備える。具体的には、発信時に相手先電話番号を入力する際、着信側加入者電話番号に続けて暗証番号と優先度情報識別符号を入力する。このことにより、呼制御情報に優先度情報の情報要素が付加された「呼設定メッセージ」が通信網に伝達される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 無線基地局を介して通信を行う移動機であって、

発呼をする際に、前記無線基地局を介して、着信先の移動機に対して優先度情報を送信する手段を備えたことを特徴とする移動機。

【請求項2】 請求項1に記載の移動機において、前記着信先の移動機は、着信呼出における着信動作時に前記優先度情報の内容に応じた動作を行う手段を備えたことを特徴とする移動機。

【請求項3】 請求項2に記載の移動機において、前記着信先の移動機は、着信規制モードが設定されているとき前記優先度情報を受信した場合、前記優先度情報の内容に応じて前記着信規制モードの設定を解除する手段と、当該通信が終了した後は再び前記着信規制モードに戻す手段とを備えたことを特徴とする移動機。

【請求項4】 情報付加装置が接続されている網を介して通信を行う移動機であって、発呼をする際に、着信先の移動機へ前記網を介して優先度情報を送信すべき旨を、前記情報付加装置に対して指示する手段を備えたことを特徴とする移動機。

【請求項5】 請求項4に記載の移動機において、前記着信先の移動機は、着信呼出における着信動作時に前記優先度情報の内容に応じた動作を行う手段を備えたことを特徴とする移動機。

【請求項6】 請求項5に記載の移動機において、前記着信先の移動機は、着信規制モードが設定されているとき前記優先度情報を受信した場合、前記優先度情報の内容に応じて前記着信規制モードの設定を解除する手段と、当該通信が終了した後は再び前記着信規制モードに戻す手段とを備えたことを特徴とする移動機。

【請求項7】 請求項1～6のいずれかに記載の移動機において、前記優先度情報は、呼制御シーケンスにおける呼設定メッセージ中に含ませて伝送することを特徴とする移動機。

【請求項8】 網側に接続された情報付加装置であって、移動機からの特定の呼出に対して予め定められた応答を該移動機に返す手段と、前記予め定められた応答に対して、前記移動機から送られる優先度指示情報を受信する手段と、前記優先度指示情報に対応した優先度情報を着信先の移動機へ送信する手段とを備えたことを特徴とする情報付加装置。

【請求項9】 請求項8に記載の情報付加装置において、前記優先度情報は、呼制御シーケンスにおける呼設定メ

ッセージ中に含ませて伝送することを特徴とする情報付加装置。

【請求項10】 請求項8に記載の情報付加装置を有する無線通信システムであって、

前記情報付加装置は、移動機が発呼する際に指示した優先度情報を着信先の移動機へ送出する信号に付加する手段を備え、該信号を受信した着信側移動機と発信側移動機との間で通信を行うことを特徴とする無線通信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、移動機、情報付加装置および無線通信システムに関するものである。

【0002】さらに詳述すると本発明は、無線基地局を介して通信を行う移動機、網側に接続された情報付加装置、および、情報付加装置を有する無線通信システムに関するものである。

【0003】

【従来の技術】従来、無線基地局を介して移動通信を行うにあたり、着信側加入者端末（着信側移動機）の利用者は、着信時に発信側加入者端末（発信側移動機）の利用者を特定するために、発信側加入者端末装置から発せられる自番号表示信号に基づいてその電話番号を識別することが行われてきた。

【0004】すなわち、着信側にて発信側の電話番号を識別するために、発信側加入者端末装置の電話番号は通信網を介して着信側加入者端末装置に通知され、これにより、着信側加入者端末装置の利用者は、識別した発信側加入者端末装置の電話番号を用いて、<sup>①</sup>実際に着信応答の操作（呼接続）を行うか、あるいは、<sup>②</sup>呼接続を行わない（例えば、自動応答装置を利用するなどの着信規制を行う）、といった対応をしていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来技術の如く、当該呼の識別は、発信側加入者端末装置の電話番号を前提としていた。この識別手法は、ある発信側加入者端末装置（発信側移動機）は、限られた特定の人によってのみ操作される、という前提条件の下に実施されているものである。

【0006】しかしながら、仮に同じ発信側加入者端末装置を同一の利用者が用いた呼であっても、着信側加入者端末装置（着信側移動機）の利用者にしてみれば、実際に通話を開始するまで、当該呼の通話内容の重要度を事前に知ることはできない、という不便さがある。

【0007】さらに、同一の利用者であっても他の発信側加入者端末装置から発呼した場合には、通信網から通知される電話番号も異なってくるので、着信側加入者端末装置の利用者の都合によっては、例えば着信拒否などがなされてしまう、といった不都合を招来することもあり得る。

【0008】よって、本発明の第1の目的は、上述の点に鑑み、呼毎に発信側加入者端末装置の利用者が呼の優先度を付与し、この優先度を含む優先度情報を通信網を介して着信側加入者端末装置へと伝達するよう構成した、移動機、情報付加装置および無線通信システムを提供することにある。

【0009】また、本発明の第2の目的は、通知された優先度情報に基づいて、着信側加入者端末装置にて着信時の端末動作を制御することにより、着信側加入者端末装置の利用者が当該呼の優先度の区分（もしくは程度）を容易に認識することができるよう構成した、移動機、情報付加装置および無線通信システムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、請求項1に係る本発明は、無線基地局を介して通信を行う移動機であって、発呼をする際に、前記無線基地局を介して、着信先の移動機に対して優先度情報を送信する手段を備えたものである。

【0011】請求項2に係る本発明は、請求項1に係る移動機において、前記着信先の移動機は、着信呼出における着信動作時に前記優先度情報の内容に応じた動作を行う手段を備える。

【0012】請求項3に係る本発明は、請求項2に係る移動機において、前記着信先の移動機は、着信規制モードが設定されているとき前記優先度情報を受信した場合、前記優先度情報の内容に応じて前記着信規制モードの設定を解除する手段と、当該通信が終了した後は再び前記着信規制モードに戻す手段とを備える。

【0013】請求項4に係る本発明は、情報付加装置が接続されている網を介して通信を行う移動機であって、発呼をする際に、着信先の移動機へ前記網を介して優先度情報を送信すべき旨を、前記情報付加装置に対して指示する手段を備えたものである。

【0014】請求項5に係る本発明は、請求項4に係る移動機において、前記着信先の移動機は、着信呼出における着信動作時に前記優先度情報の内容に応じた動作を行う手段を備える。

【0015】請求項6に係る本発明は、請求項5に係る移動機において、前記着信先の移動機は、着信規制モードが設定されているとき前記優先度情報を受信した場合、前記優先度情報の内容に応じて前記着信規制モードの設定を解除する手段と、当該通信が終了した後は再び前記着信規制モードに戻す手段とを備える。

【0016】請求項7に係る本発明は、請求項1～6のいずれかに係る移動機において、前記優先度情報は、呼制御シーケンスにおける呼設定メッセージ中に含まれて伝送される。

【0017】請求項8に係る本発明は、網側に接続された情報付加装置であって、移動機からの特定の呼出に対

して予め定められた応答を該移動機に返す手段と、前記予め定められた応答に対して、前記移動機から送られる優先度指示情報を受信する手段と、前記優先度指示情報に対応した優先度情報を着信先の移動機へ送信する手段とを備えたものである。

【0018】請求項9に係る本発明は、請求項8に係る情報付加装置において、前記優先度情報は、呼制御シーケンスにおける呼設定メッセージ中に含まれて伝送される。

【0019】請求項10に係る本発明は、請求項8に係る情報付加装置を有する無線通信システムであって、前記情報付加装置は、移動機が発呼する際に指示した優先度情報を着信先の移動機へ送出する信号に付加する手段を備え、該信号を受信した着信側移動機と発信側移動機との間で通信を行うものである。

【0020】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態として、無線基地局および通信網を介して移動通信を行う加入者端末装置（移動機）のうち、発信側加入者端末装置（発信側移動機）の利用者が操作することにより付加される呼毎の優先度情報を、着信側加入者端末装置（着信側移動機）に対して伝達し、呼毎の優先度情報により着信時における加入者端末装置の鳴動等（鳴音・表示形態・振動）を変更させるようにした、移動機、情報付加装置および無線通信システムについて説明する。

【0021】以下、図面を参照しながら、各実施の形態について詳述する。

【0022】実施の形態1

ここで述べる実施の形態1は、発信側加入者端末装置（発信側移動機）より発信する際に、着信側加入者端末装置（着信側移動機）に優先度情報を伝達するために、通信網側へ送出する呼制御情報に優先度情報に関する情報要素を付加する構成を備えたものである。

【0023】図1は、本発明を適用した移動機の全体構成を示す。本図において、2は送受話部、4は音声制御部、6はダイヤルキーを含む操作部、8は表示部、10は移動機制御部、12は無線装置部、14は無線アンテナ部、16は優先度情報を付加するための制御部である。上記の各部のうち、優先度情報を付加するための制御部16を除くブロックは、公知の技術により構成することが可能であるので、詳細な説明は省略する。換言すると、本実施の形態1で特有な構成は、優先度情報を付加するための制御部16を含んでいる点である。

【0024】次に、優先度情報を付加するための制御部16を用いて、優先度情報（後に説明する「優先度」の区分を含む）を着信側移動機に伝送する過程ないしプロトコルを説明する。

【0025】まず、発信時に相手先電話番号を入力する際、図2に示した呼制御のためのプロトコルに示すように、着信側加入者電話番号に続けて暗証番号と優先度情

報識別符号を入力する。この結果、呼制御情報に優先度情報の情報要素が付加された「呼設定メッセージ」が通信網に伝達される。なお、図2に示した他の呼制御シーケンスは、公知の呼制御と同じであるので、説明は省略する。

【0026】「デジタル方式自動車電話システム標準規格」( (社) 電波産業会) においては、レイヤ3の呼設定メッセージ(SETUP)中に固定シフト(コード群6)により、事業者固有の情報要素「優先度表示」を設けることによって、優先度の指定を行うことが可能になる。

【0027】図3には、上記の呼設定メッセージの内容について詳細に示してある。なお、発信側移動機から網側へ呼設定メッセージを伝達する場合のみならず、後に説明するように、網側から着信側移動機に対して呼設定メッセージを伝送する際にも使用される。

【0028】図3の最下行に示すように、本実施の形態1では、情報要素の一つとして「優先度表示」を含んでいる。この「優先度表示」は、1オクテットの低位3ビットを用いて4段階の優先度を規定している。より具体的に述べれば、図4に示すように、優先度は4つの区分、すなわち「低い」・「普通」・「高い」・「緊急」に分けられている。

【0029】実施の形態2

ここで述べる実施の形態2は、発信側加入者端末装置(発信側移動機)より発信する際に、優先度情報をその移動機から直接設定できない場合にも、通信網側に接続した情報付加装置を用いることにより、通信網側で呼制御情報に対する優先度情報の情報要素を付加して伝送する構成としたものである。具体的には、優先度情報に関する情報要素を設定するための情報付加装置を新たに網側に設けると共に、移動機側には、上記情報付加装置に優先度情報を指示・伝達するための制御部を備えたものである。そして、発信側加入者端末装置から指示した優先度情報を、各網内に透過的に伝達可能としたものである。

【0030】図5は、本実施の形態2による移動機の全体構成を示す。本図において、2は送受話部、4は音声制御部、6はダイヤルキーを含む操作部、8は表示部、10は移動機制御部、12は無線装置部、14は無線アンテナ部、18は網側に接続された情報付加装置に優先度情報を伝達するための制御部である。上記の各部のうち、制御部18を除くブロックは、図1に示した移動機と同じである。すなわち、本実施の形態2で特有な構成は、網側に接続された情報付加装置に優先度情報を伝送するための制御部18を含んでいる点である。

【0031】図6は、網側に接続された情報付加装置28を示したブロック図である。本図において、20は網、22は音声ガイダンス(後に図7を参照して説明する)を発生させる音声応答装置、24は優先度情報を付

加するための信号処理装置、26はその他の呼制御・伝送制御を行うための制御装置である。また、網20には無線基地局30が接続されている。

【0032】次に、網側に接続された情報付加装置に優先度情報を伝達するための制御部18を用いて、優先度情報を着信側移動機に伝送するための過程ないしプロトコルを説明する。

【0033】図7は、音声応答装置22(図6参照)を用いた音声自動案内による呼制御シーケンスを示す。本図から明らかなように、発信時に特別な電話番号をダイヤルし(特番ダイヤル)、通信網の音声応答装置22から発せられる音声自動案内に従って、相手先電話番号・暗証番号および優先度情報識別符号(優先度情報指示情報)を入力することにより、情報付加装置28への優先度情報指示が完了する。

【0034】図8は、網側から発せられる第2ダイヤルトーンによる呼制御シーケンスを示す。本図から明らかなように、まず、特別な電話番号をダイヤルし(特番ダイヤル)、網側の制御装置26(図6参照)からダイヤル入力可能信号音(第2ダイヤルトーン)の送出を受けた後、相手先電話番号・暗証番号および優先度情報識別符号(優先度情報指示情報)を入力することにより、情報付加装置28への優先度情報指示が完了する。

【0035】かくして、呼制御情報に優先度情報の情報要素が格納されて、通信網から着信側加入者端末装置(着信側移動機)に、または網間接続された他網に、優先度情報が伝達される。

【0036】なお、網側に接続される情報付加装置28は、図9に示すシステム構成のように、実際には交換局32に接続するのが好適である。この交換局32には、加入者情報処理装置34が接続されている。さらに交換局32は、他網接続点36を介して他の網に接続される。

【0037】実施の形態3

ここで述べる実施の形態3は、発信側加入者端末装置(発信側移動機)で指定した優先度情報を、呼制御情報の情報要素(図3参照)を用いて通信網側から着信側加入者端末装置(着信側移動機)に伝達する。そして、着信側加入者端末装置では、通信網側から通知された優先度情報により、着信側加入者端末装置の着信時端末動作(鳴音・表示・光および振動など)を変更可能とし、特に優先度が高い着信に対しては端末利用者が容易にそれを知ることができるような端末動作をさせるものである。

【0038】図10は、着信時における呼制御シーケンスを示す。本図から明らかなように、着信側加入者端末装置を通信網から呼び出す際に、呼制御情報に優先度情報を表す情報要素を含ませることにより(すなわち、呼設定メッセージ中に情報要素として「優先度表示」を付加することにより)、鳴音・表示・光および振動など着

信側加入者端末装置における着信呼出形態を設定する。このような、着信側での優先度情報処理は、図11に示すフローチャートに従って行われる。

【0039】図11において、まず、呼設定メッセージを網側から受信すると（ステップS1）、その呼設定メッセージに含まれている優先度を識別する（ステップS2）。そして、優先度が「緊急」である場合には（ステップS3：YES）、鳴音・表示・光および振動のうちから端末操作者が予め定めた報知形態での呼出動作を行う（ステップS4）。以下同様に、優先度が「高い」場合には（ステップS5：YES）、「高い」ときの呼出処理を行う（ステップS6）。また、優先度が「普通」の場合には（ステップS7：YES）、「普通」のときの呼出処理を行う（ステップS8）。それ以外の場合には、「低い」優先度が設定されていることになるので、「低い」ときの呼出処理を行う（ステップS9）。

【0040】実施の形態4

ここで述べる実施の形態4は、通信網から通知された優先度情報に基づいて、着信側加入者端末装置（着信側移動機）での着信時端末動作（鳴音・表示・光および振動など）の規制（着信時端末動作の禁止を含む）を一時的に解除し、その着信規制の設定内容を変更可能とするものである。

【0041】例えば、着信側加入者端末装置にて着信時の呼出動作を規制（着信禁止を含む）している場合、すなわち「着信規制モード」が設定されている場合であっても、発信側加入者端末装置（発信側移動機）の利用者が緊急を要する通信を行いたいときには、着信側端末で一時的に着信規制モードを解除することが好ましい場合がある。一例として、着信時の端末動作がサイレント状態（鳴音なし、振動なし、光あり、表示あり）に設定されているような場合であっても、緊急時にはバイブレータ状態（鳴音なし、振動あり、光あり、表示あり）にて呼出を行うことが可能であれば、着信側利用者にとっても、より良好な状態を生むことがあり得る。

【0042】そこで、本実施の形態6では、図12に示すような着信時処理を実行する。

【0043】図12において、まず、呼設定メッセージを受信すると（ステップS11）、着信規制モードが設定されているか否かを判定する（ステップS12）。ここで、着信規制モードとは、例えば、① 自番号を通知しない発呼に対しては、着信鳴動を行わない；② 着信呼出動作を「サイレント」に設定する；③ 特定の発信番号以外には、着信拒否のメッセージを送出する；等の設定がなされていることをいう。

【0044】着信規制モードが設定されていない場合には、図11に示した通常の優先度情報処理を実行する（ステップS13）。他方、着信規制モードが設定されている場合には、呼設定メッセージで設定されている優先度が「緊急」であるか否かを判別し（ステップS1

4）、優先度が「緊急」でない場合には、予め設定されている着信規制モードはそのままとして着信処理を進める（ステップS15）。しかし、「緊急」の優先度が設定されている場合には、予め設定されている着信規制モードを一時的に解除する（ステップS16）。そして、呼出動作の設定を、既定の内容に変更する（ステップS17）。例えば、④ “サイレント”モードが設定されている場合には、“バイブレータ”モードに変更する；⑤ 着信拒否を解除する；等の設定変更を行う。

【0045】その後、通信が終了すると（ステップS18）、再び、予め設定されている着信規制モードに設定しなおす（ステップS19）。

【0046】

【発明の効果】以上説明した通り、本発明によれば、呼毎に発信側加入者端末装置（発信側移動機）の利用者が呼の優先度を付与もしくは指示し、この優先度を含む優先度情報を通信網を介して着信側加入者端末装置（着信側移動機）へ伝達することができる。

【0047】また、その他の本発明によれば、通知された優先度情報に基づいて、着信側加入者端末装置にて着信時の端末動作を制御することにより、着信側加入者端末装置の利用者が当該呼の優先度の区分（もしくは程度）を容易に認識することができる。

【0048】より具体的に述べると、発信者側加入者端末装置（発信側移動機）の利用者は、優先度情報を付加して通信相手方の加入者端末装置（着信側移動機）に着信呼出を行うことにより、着信側加入者端末装置の利用者にとっても発信者側端末装置利用者の意図を推し量ることがより確実かつ容易になるので、従来に比して、さらなる高度なコミュニケーションをすることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施の形態1における移動機の構成を示すブロック図である。

【図2】実施の形態1における呼制御シーケンスを示す図である。

【図3】各実施の形態で用いる呼設定メッセージを示す図である。

【図4】呼設定メッセージの情報要素として付加される「優先度表示」のビット構成を示す図である。

【図5】実施の形態2における移動機の構成を示すブロック図である。

【図6】実施の形態2における情報付加装置の構成を示すブロック図である。

【図7】実施の形態2における、音声自動案内による呼制御シーケンスを示す図である。

【図8】実施の形態2における、第2ダイヤルトーンによる呼制御シーケンスを示す図である。

【図9】実施の形態2におけるシステム構成を示す図である。

【図10】実施の形態3における着信側の呼制御シーケンスを示す図である。

【図11】実施の形態3における優先度情報処理手順を示すフローチャートである。

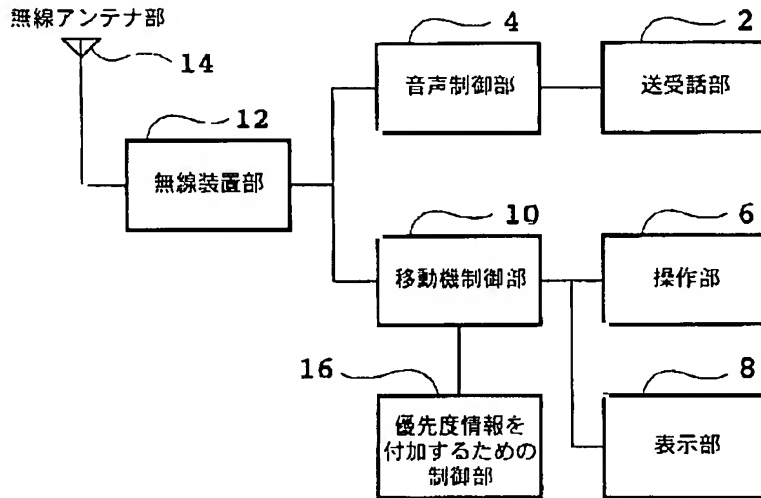
【図12】実施の形態4における着信時処理手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

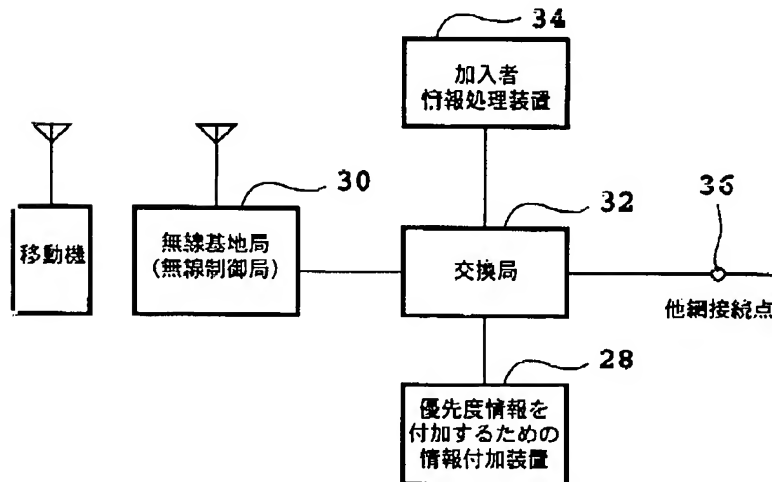
2 送受話部  
4 音声制御部  
6 操作部  
8 表示部  
10 移動機制御部  
12 無線装置部

14 無線アンテナ部  
16 優先度情報を付加するための制御部  
18 網側に接続された情報付加装置に優先度情報を伝達するための制御部  
20 網  
22 音声ガイダンスを発生する音声応答装置  
24 優先度情報を付加するための信号処理装置  
26 制御部  
28 情報付加装置  
30 無線基地局  
32 交換局  
34 加入者情報処理装置  
36 他網接続点

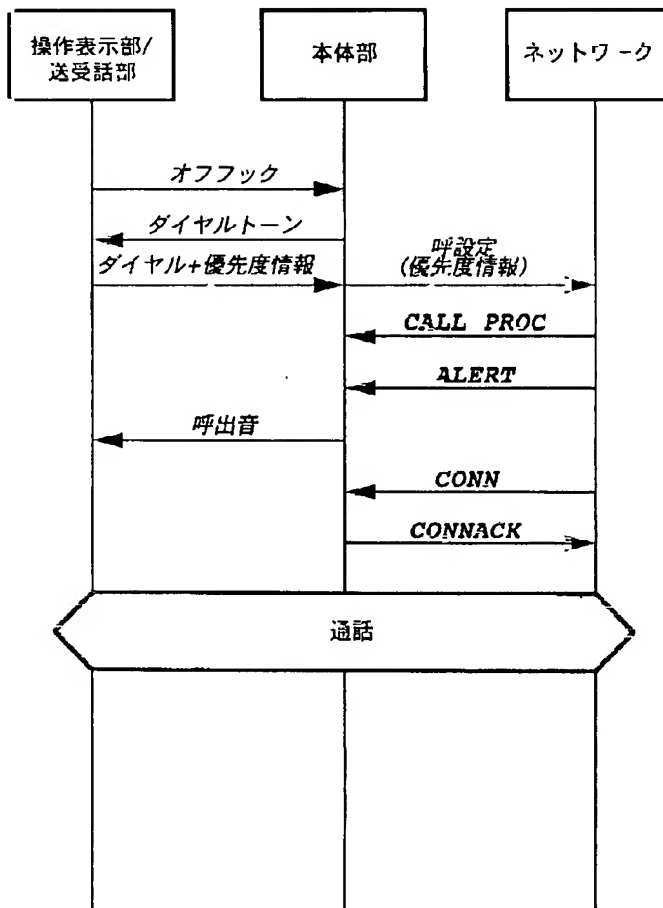
【図1】



【図9】



【図2】

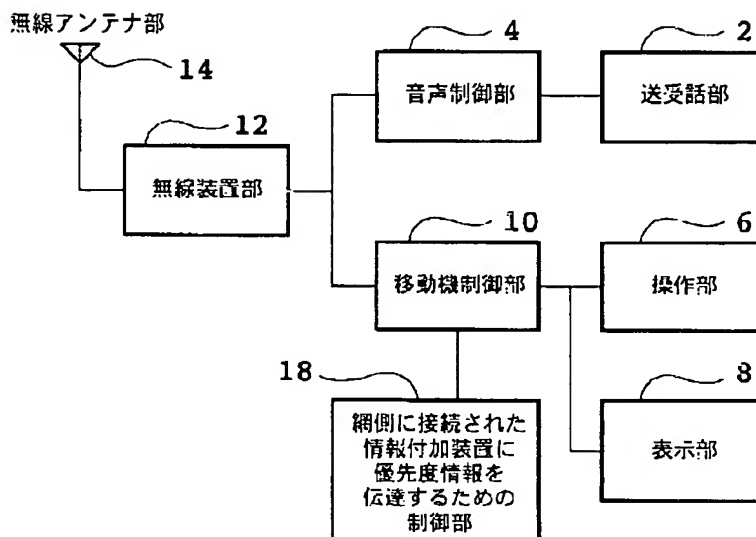


【図4】

優先度表示			
ビット列			
6	7	8	優先度の意味
0	0	0	「低い」
0	0	1	(予約)
0	1	0	(予約)
0	1	1	「普通」
1	0	0	(予約)
1	0	1	「高い」
1	1	0	(予約)
1	1	1	「緊急」

- ・ 1オクテットとする
- ・ オクテット中の上位5ビットは予約
- ・ 下位3ビットについて上表の対応づけを行う

【図5】

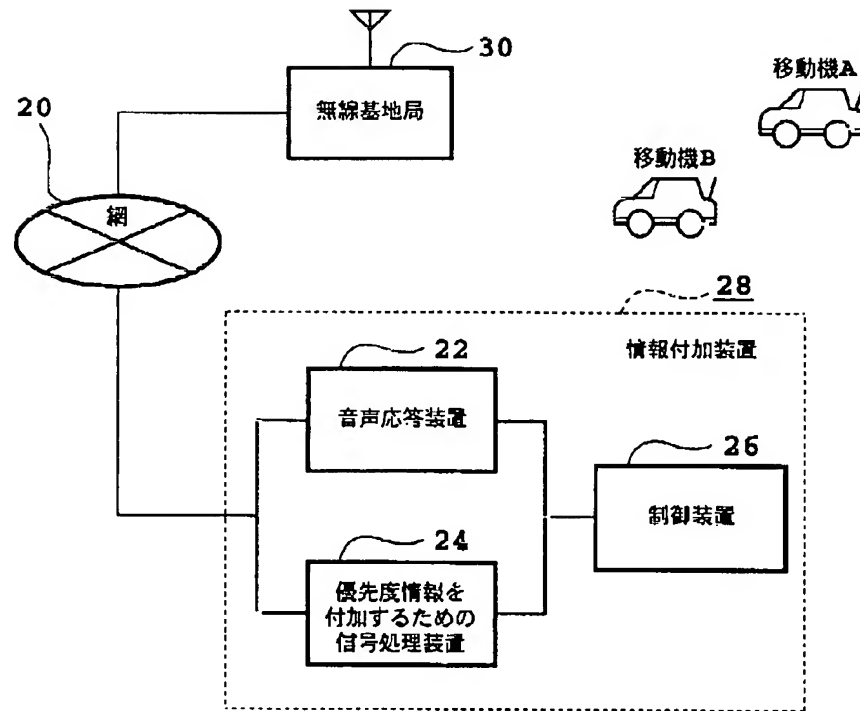


【図3】

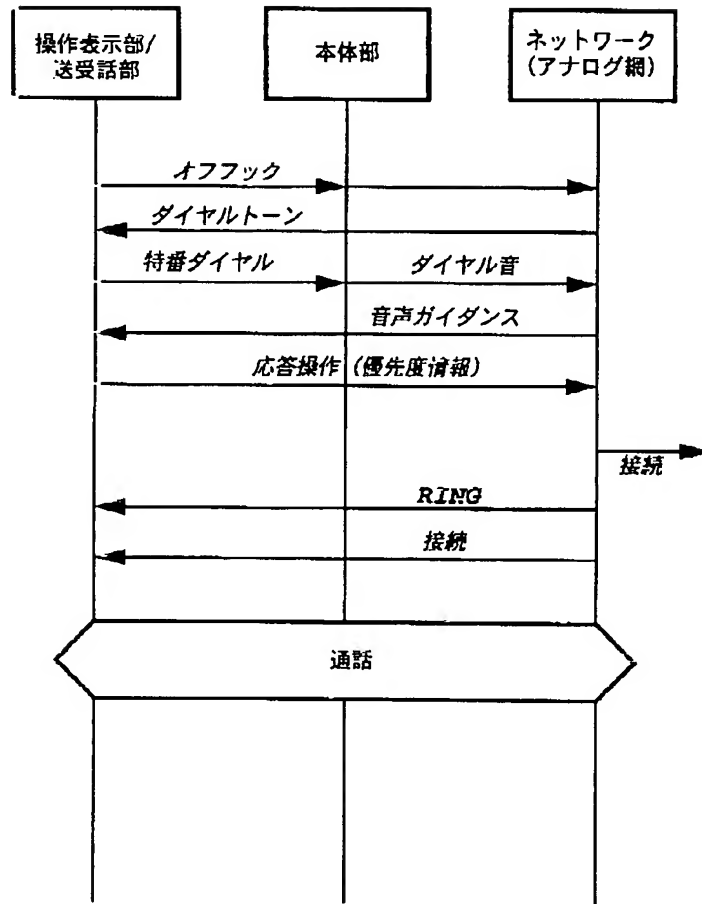
情報要素	方向	種別	情報長		備考
			FV	(oct)	
プロトコル識別子	両方向	M	F	1	
呼番号/付加サービス識別子	両方向	M	F	1	
メッセージ種別	両方向	M	F	1	
伝達能力	両方向	M	V	5-8	
チャネル識別子	両方向	O	V	2-3	
ファシリティ	両方向	O	V	2-*	
経過識別子	両方向	O	F	3	
表示	下り	O	V	*	
キーパッドファシリティ	両方向	O	V	2-35	
シグナル	下り	O	F	2	
フィーチャアクティベーション	上り	O	V	2-4	
フィーチャインディケーション	下り	O	V	2-5	
発番号	両方向	O	V	2-16	
発サブアドレス	両方向	O	V	2-23	
着番号	両方向	O	V	5-15	
着サブアドレス	両方向	O	V	2-23	
高位レイヤ整合性	両方向	O	F	3	
ユーザ・ユーザ	両方向	O	V	2-131	
固定シフト (コード群3)	上り	O	F	1	
データ通信用機能選択情報	上り	O	V	2-8	
固定シフト (コード群6)	両方向	O	F	1	(新規)
優先度表示	両方向	O	F	1	(新規)



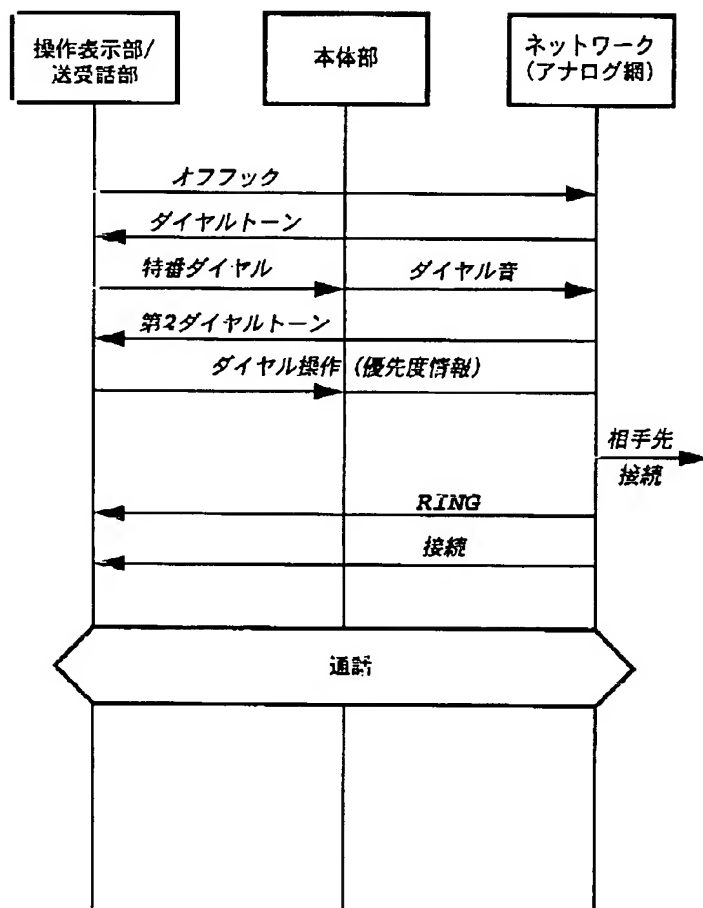
【図6】



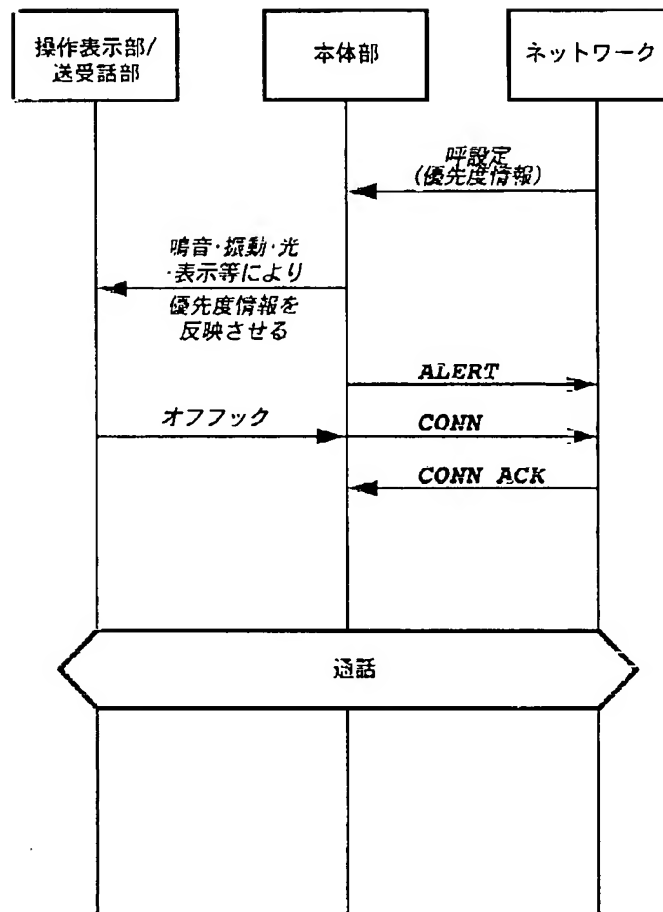
【図7】



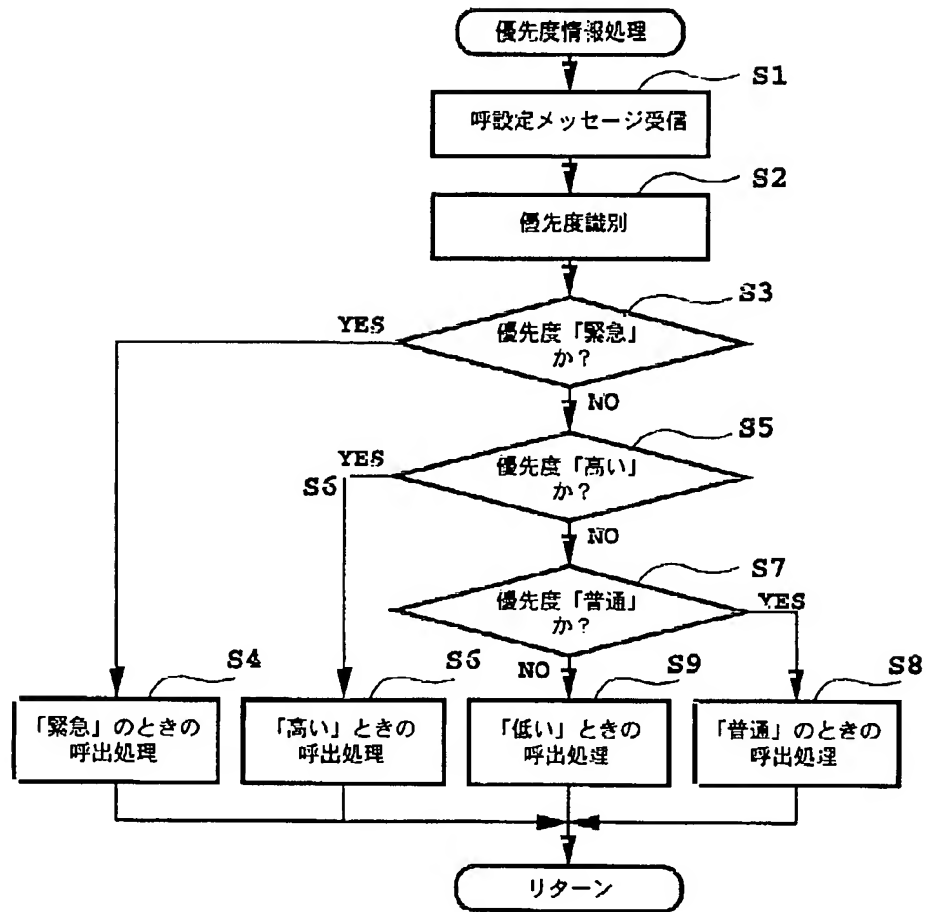
【図8】



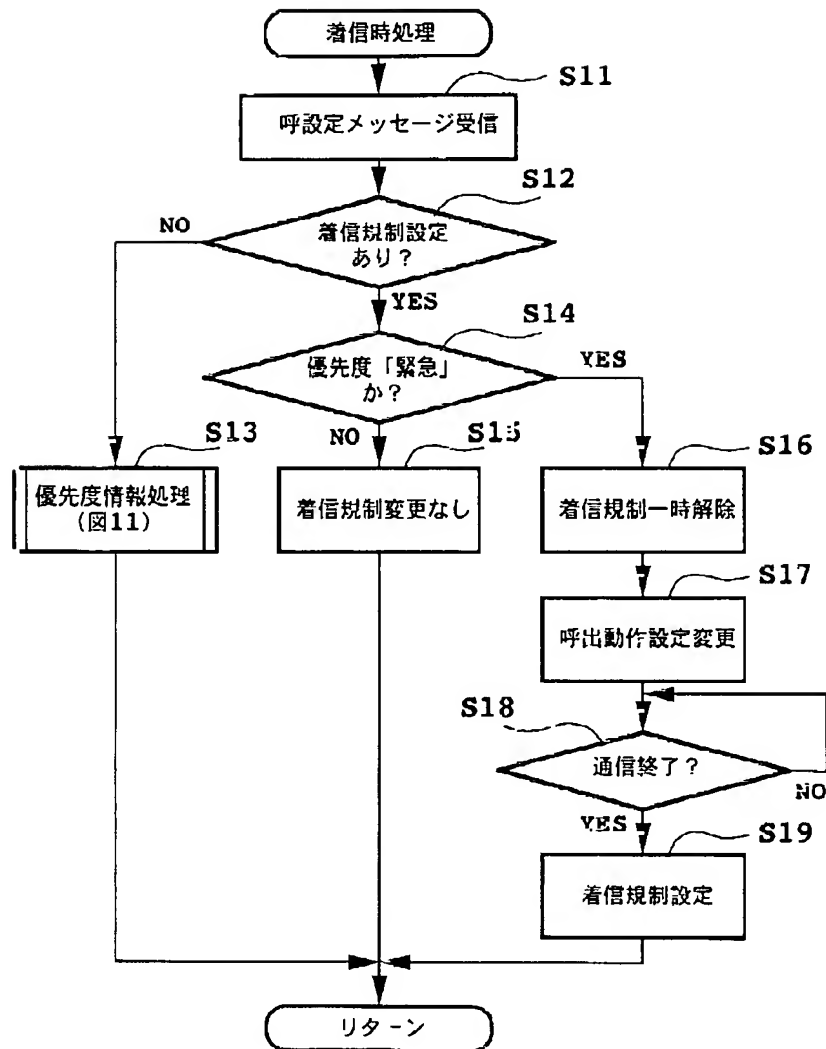
【図10】



【図11】



【図12】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5K067 AA21 AA34 BB04 DD23 DD51  
 EE02 EE10 FF02 FF23 FF27  
 FF28 GG01 GG11 HH05 HH12  
 HH21 HH22

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-103551

(43)Date of publication of application : 13.04.2001

(51)Int.Cl.

H04Q 7/38

(21)Application number : 11-280698

(71)Applicant : NTT DOCOMO INC

(22)Date of filing : 30.09.1999

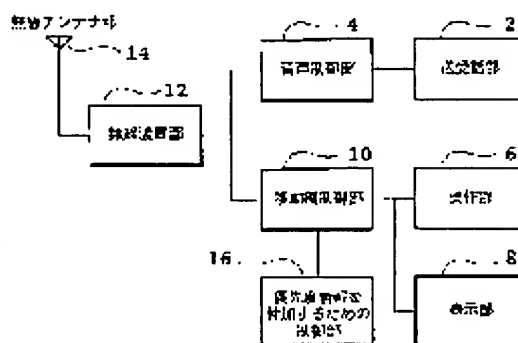
(72)Inventor : ISHIKAWA HIDETOSHI  
WAKABAYASHI TATSUAKI

## (54) MOBILE SET, INFORMATION ATTACHMENT DEVICE AND WIRELESS COMMUNICATION SYSTEM

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a wireless communication system that a user of a caller mobile set gives or indicates priority of each call and transmits priority information including the call priority to a caller mobile set via a communication network.

**SOLUTION:** The caller side mobile set is provided with a control section 16 that is a block to add an information element relating to priority information to call control information to be sent to a communication network in order to transmit the priority information to the called mobile set in the case of making a call from the transmitter side mobile set. Contently in the case of entering a destination telephone number at dialing, a password and a priority information identification code are entered in succession to the entry of the called party subscriber telephone number. Thus, the transmitter side mobile set transmits a 'setup message' where the information element of the priority information is added to the call control information to the communication network.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.06.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 30.07.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]